

学年	教科等	単元名	日時
第1学年	生活科	ぐんぐんそだて (アサガオ)	平成29年6月12日(月)5校時
本実践の主張	<p>子どもは、これまでの日常生活において、花や野菜を育てる経験をしてきているが、その栽培経験のほとんどは、苗から育てたり、家族や教師が主となって育てたりしたものである。そのため、植物と自分との一対一で植物に対する思いを広げながら継続的に栽培にかかわってきた経験のある子どもは少ない。そこで、本実践では、「比較する」「繰り返す」ことのできる単元を構成し、アサガオの変化や成長の様子に気付かせていく中で、子どもが思いを広げていくことができるような授業をめざしていく。特に本時では、アサガオに「話しかける」、アサガオの声を「きく」といった活動をとおして、子どもがアサガオの変化や成長の様子を自分とのかかわりからとらえ、思いを広げていくことをめざして、授業を行った。</p>		

### 子どもが思いを広げていく手立ての工夫

#### ①本時の活動への意欲付け

「喉が渴いたよ。」って言っているよ。

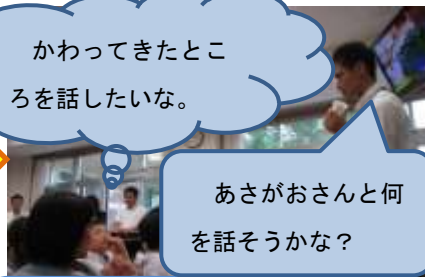


アサガオ及び魔法の道具を提示する。

#### ②学習の見通し

かわってきたところを話したいな。

あさがおさんと何を話そうかな？



対象とかかわる視点を確認し、一人一人の思いを明確にする。

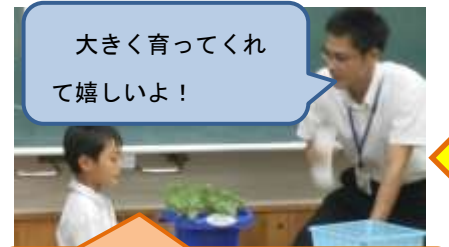
#### ③あさがおとの会話



「話しかける」「聞く」場を設定する。

#### ④気づきを基にしたかかわり・気づきの共有、思いの広がり

大きく育ってくれて嬉しいよ！



水をたくさんくれたからだよ！


会話したことを話し合う。

ざらざらな葉っぱも大きくなったね。



対象とのかかわりをさらに深める。

前よりも大きくなったからだよ。




ハートの形の葉が増えたね。

会話の紹介及び役割演技で思いを広げる。

#### ⑤ 対象と自分とのかかわりの実感

ぼくのあさがおさんは、何と言っているかな。



自分のアサガオだったら…何と言うか聞く。

#### ⑥ 新たな思いや願い

「大きくなったねパーティー」がしたいな！

これから水やりをがんばるぞ！

地球みたいに大きくなあれ！



今後の成長の様子を体で表現する。

前時において、「みる」「さわる」「におう」等のかかわりからの気づきが子どもから既に出てきていたため、それらの視点からの気づきが出にくい状況であった。対象と自分とのかかわりをふりかえらせるには取り上げるタイミングを考慮すべきであった。また、子どもが知っているから「こうだ。」と決めつけるのではなく、実際に手を動かし、確かめていく中で湧き上がっていく言葉を表現していくというかかわり方を生み出す手立ての工夫が必要である。

=今後の課題=

- 設定を発問ととらえた単元構成のさらなる工夫
- 学級規律と生活科の求める学びの在り方の兼ね合い
- 知っていることを崩していけるような学びの在り方

御意見・御質問はこちら (研究部アドレス)

miyafuken@cc.miyazaki-u.ac.jp

# 授業実践計画

## ○ 指導計画（15 時間）

- |  |              |
|--|--------------|
| (1) アサガオや他の植物の種からどのような花が咲くかを想像し、種を蒔く。_____     | 3 時間         |
| (2) アサガオを育てる。_____                             | 7 時間         |
| ・ 発芽したアサガオの様子を観察し、変化や成長の様子をとらえる。・ ・ ・ ・ ・      | 1            |
| ・ アサガオの成長の様子を観察し、自分とのかかわりに気付く。・ ・ ・ ・ ・        | 1 (本時 2 / 7) |
| ・ ミニイベント①を計画し、実施する。・ ・ ・ ・ ・                   | 2            |
| ・ 花の様子を観察し、変化や成長の様子をとらえ、ミニイベント②を実施する。・ ・ ・ ・ ・ | 3            |
| (3) 花や種を生かした活動を行い、活動をふりかえる。_____               | 5 時間         |

## ○ 本時の目標

アサガオの変化や成長の様子、自分とのかかわりに気付くことができる。

## ○ 指導過程

学習活動及び学習内容	教師のかかわり
<p>1 本時学習について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教師のアサガオの提示</li> <li>○ 本時のめあて</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>まほうのどうぐをつかって、あさがおさんとおしゃべりをしよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教師が育てているアサガオを提示し、魔法の道具（メガホン）を使って会話を楽しむ様子を見せることで、本時の活動への意欲を高めることができるようにする。</li> </ul>
<p>2 学習への見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「話しかける」「きく」</li> <li>→ 「みる」「さわる」「におう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「アサガオさんと何を話そうかな？」と問うことで、思いを明確にすることができるようにする。</li> <li>○ 「話しかける」「きく」という活動をとおして、「みる」「さわる」「におう」という諸感覚を使ってアサガオとじっくりかかわることができるようにする。</li> </ul>
<p>3 アサガオと会話をする。</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;">    </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アサガオと会話したことを学習プリントの吹き出しに書かせたり、子どもの思いに寄り添った言葉かけをしたりすることで、思いを広げながら会話をするができるようにする。</li> </ul>
<p>4 会話したことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 変化や成長の様子、自分とのかかわり <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ハートの葉っぱが大きくなってきたね。」</li> <li>→ 「うん。いつも水をくれて、ありがとう。」</li> <li>→ 「これからもぐんぐん大きくなってね。」</li> <li>→ 「わかったよ！がんばるね！」</li> <li>・ 「ざらざらな葉っぱが増えてきたね。」</li> <li>→ 「お世話をしてくれてありがとう。」</li> <li>→ 「これからも水をたくさんあげるね。」</li> <li>→ 「嬉しいな。」</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 思いの広がりが見られる子どもの会話を紹介し、役割演技をさせることで、全体の思いの広がりを促す。</li> <li>○ 自分のアサガオになりきらせ会話を再現させることで、アサガオの変化や成長の様子、自分とのかかわりについてふりかえることができるようにする。</li> <li>○ これまでの成長の様子と比較させることで、自分のかかわりがアサガオの成長にかかわっていることを実感できるようにする。</li> </ul>
<p>5 本時学習についてふりかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新たな思いや願いをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「これからもお世話をがんばるぞ！」</li> <li>・ 「元気に育ってね。」</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アサガオの今後の成長の様子を体で表現させ、アサガオと一体化させることで、継続して観察や世話をしていく意欲を高めることができるようにする。</li> </ul>

## ○ 学びの本質に向かっている子どもの姿

いつも水やりをしていたら葉っぱが増えて大きくなってきたよ。あさがおさんは、ぼくにありがとうって言っているみたい。これからもお世話をがんばるぞ！

【身近な環境や自分についての気付き】

